
田中雄三の災難

ゆうきち1号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

田中雄三の災難

【Nコード】

N1524B

【作者名】

ゆづきち1号

【あらすじ】

高校卒業。就職か？進学か？夢を追う為就職を選んだ田中雄三は社会の厳しさに啞然とする…

プロローグ

あのとぎの選択は、正しかったのだろうか？

後々のハッピーな事を考えると、間違いではないのだろうか…

ただ、間違いなく言えるのは、俺の寿命は長くないだろう…

1 選択

とても綺麗な景色だ。

田舎の山に囲まれ、周りには高いビルなど、一つもない。

窓から見える景色は、小さな駄菓子屋。

ママチャリで子供を荷台に乗せたおばちゃん。

とても寂しい風景。

高速バスに揺られうたた寝をしていた田中雄三は、バスのアナウンスで目が覚めた。

『あつ…』思わず声を出してしまった。

さっきまでの風景とは違い、瞳に写るのは、高層ビル、田舎では見る事のできないギャル、それよりも、

この人の多さは、なんなんだ？

こんなに人が密集していいのか？

車なんか、あつても逆に大変なんだろうな…

そんな事を思いながら田中雄三は、バスを降りた。

徳島 東京間の長時間の移動で少し疲れた。

今日はホテルで休もう。

まだ18の雄三にとって一人でホテルなんて、なんてリッチなのだろう。

都会の街を満喫したいが、これからは、毎日ここで生活するのだから、明日に備えてゆっくり休もう。

高校卒業間近、雄三は進学か就職か迷っていた。

雄三には、夢がある。

それは、スポーツ選手になりたい、芸能人になりたいなどと言った物ではない。

小さい頃から、特に遊ぶ事もなく平凡に育った雄三にとって都会と言うのは、とても憧れであり、自分も都会の華やかな色に染まりたいと思っていた。

田舎のつまらない街とは、早くオサラバしたかった。とにかく、都会に行く。

親は徳島から離したくない

長男なのにどうするの？

とにかく就職にしろ進学にしろ県内にしろと、しつこく言ってきたが雄三は、親の願いむなく就職を選んだ。

大学になんか行っても金の無駄。

勉強なんてこりこりだ。

就職して金を好きな事に使う。

雄三は結局有名な中華料理店に就職する事にした。

飲食店というのは、まかないが付いていて、寮もついている。金を貯めるには絶好だ。

決まっていた方がいい仕事とは言わないが、そんなのは、金を貯めて違う仕事につけばいい。

お洒落なバーでも開こうかな？

窓から都会の街を眺めながら雄三は思い出していた。明日からは新入社員研修。今日はもう寝よう。

雄三は昔から夢見た都会人になれた嬉しさでいっぱいだった。期待と不安で満ちてると言うが雄三に不安など全く無かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1524b/>

田中雄三の災難

2010年12月4日22時32分発行